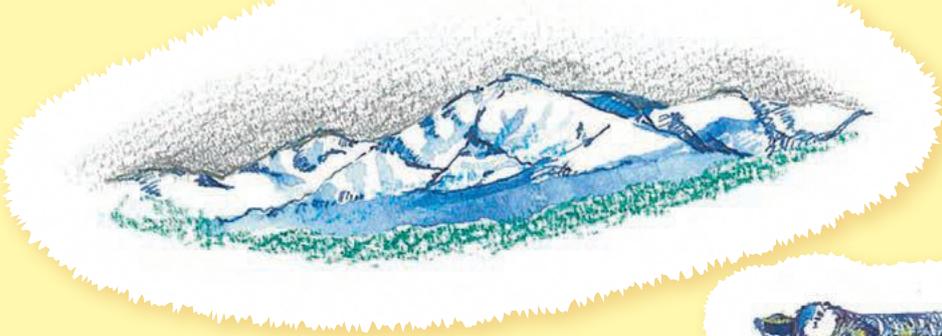
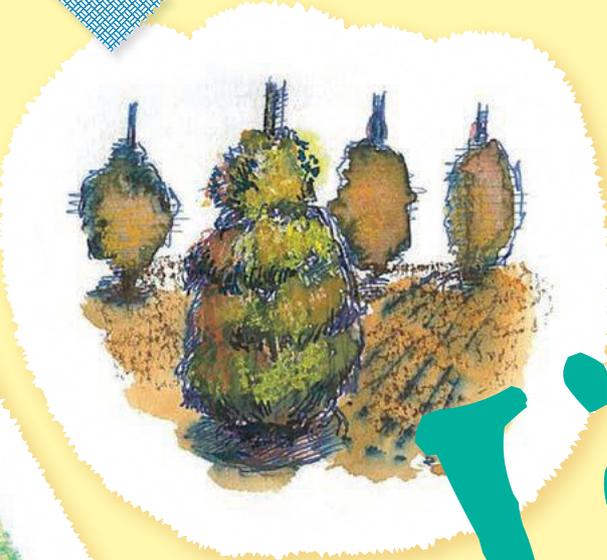


Iide town welcome guide



おいで
いいで
飯豊町



Iide!

飯豊町ってこんなところ

飯豊町は山形県の南部に位置し、総面積の8割以上を山林が占める緑豊かな町です。白川の水と耕地を利用した農業地帯で良質米を生産し、肉用牛の生産地でもあります。仙台と新潟を結ぶルートの中継地点となっており、交通の要衝となっています。降雪期間は11月から3月。山間部では3～4mの積雪となることもあり、特別豪雪地帯に指定されています。



飯豊町

人口 6,215人

世帯数 2,290世帯(令和2年国勢調査)

面積 329.6 km²

プロモーション映像を
ご覧いただけます。 >



気候

特別豪雪地帯の飯豊町。多いところでは3～4mの積雪になることも。移住して最初の年は雪の多さにびっくりするかもしれませんが、町のしっかりした除雪体制で運転に困ることはありません。しかしながら、雪国暮らしには「忍耐」が必要。移住を検討されている方は冬の飯豊町体験必須です。

雪の活用



雪室

食材をおいしく管理することに優れた天然の冷蔵庫、「雪室貯蔵施設」。湿度の高い冷気が貯蔵した野菜の糖度を増し、お酒が熟成されるなど、+αの価値を生み出します。



SNOWえっぐフェスティバル (7月)

厄介者の雪を何かに使えないか？と当時の若者達が始めた「雪残しプロジェクト」。夏まで溶けずに残っていたため、「この雪を使ってイベントをしよう！」とスタート。



里山景観・里山文化

中津川地区は周囲を山に囲まれ、町内でも特に雪深い地区。昔から引き継がれてきた菅笠作りや山の恵みをふんだんに使った郷土食など、伝統が色濃く残っています。



飯豊連峰

飯豊連峰は、磐梯朝日国立公園に位置し、山形県、福島県、新潟県の3県にまたがり、2,000メートル級の峰々が偉容を誇ります。飯豊連峰の山々から流れる清らかな水は、大地を潤し、豊かな稲作地帯を形成し、農村文化を育んでいます。飯豊連峰の山容を望む景観は訪れる人々を魅了してくれます。



文化・歴史

飯豊町を代表する伝統文化の獅子舞。それぞれの地区の人々により保存・伝承され、その勇敢な舞いを現在に伝えています。毎年春から秋にかけて町内神社では農作物の五穀豊穡・無病息災を祈願する農村文化の伝統として「荒獅子祭り」が繰り広げられます。



山形を代表する夏のイベント「花笠まつり」。このお祭りに欠かせない花笠。花笠の元になる「菅笠」の多くを中津川地区のおじいちゃんおばあちゃんたちが作っています。雪の多い中津川地区では、農作業などで使われてきた菅笠を冬期間の仕事とし、昭和38年頃から花笠まつりに毎年提供してきました。



特産品



山菜

町の面積の約8割を占める広大な山林は、山菜の宝庫。わらび園の開園は5月頃。



米

つや姫・はえぬぎ・こしひかりを中心に作付け。



牛肉

日本三大和牛「米沢牛」の約4割を飯豊町で生産。

暮らしの情報

車のある生活

一家に数台の車は当たり前？！

飯豊町では、各家庭ほぼ1人1台車を所有しています。首都圏と違い、各地に駐車場がたくさんあるので車を停めるのに不便はありません。

冬の運転は時間に余裕を持って！

冬場の運転は、圧雪や路面凍結に十分な注意が必要。3K(急ハンドル、急発進、急ブレーキ)は厳禁！スタッドレスタイヤ必須・4輪駆動(4WD)の車が安心です。11月頃にはタイヤ交換、ワイパーも雪用のものに付け替えます。近隣の自動車教習所では、雪道教習を行っているところもありますので、ご活用ください。



乗り合いタクシー「ほほえみカー」

低価格で利用出来る乗り合いタクシー方式のデマンド交通システムです。事前登録制で、指定されたエリアのどこでも乗り降り可。

冬の暮らし

雪かきに欠かせないアイテム



冬の楽しみ

雪が降ると、生活では大変なことが多いですが、スキーやスノーボードなどが楽しめることも冬の楽しみの一つ。各地区では雪祭りが開催されます。

雪かき

冬は雪が積もります。道路の除雪は行政がきちんと行いますが、自宅周辺などは自分で除雪しなければなりません。冬の運動不足を解消するいい機会。スノーダンプやスコップなどの道具を使って雪かきを行いましょう。シーズン中の雪かきは町内事業者へ依頼することもできます。

買い物事情

町内には、スーパー・コンビニエンスストア・ホームセンター・ドラッグストア・ガソリンスタンドなどの他、個人商店が点在。町内店舗利用の他、週末に車で10~15分程度の隣町の大型スーパーでまとめ買いをすることが多いです。大型の衣料品店などのある米沢市へは車で約30分。町内の加盟店で1,000円以上注文すると商品を自宅まで届けてくれる「商工会宅配事業」という嬉しいサービスも。

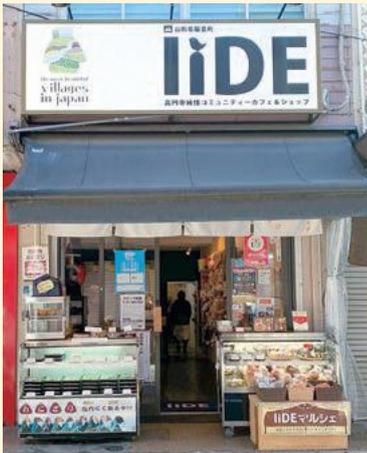


自治会って？

飯豊町には、69の自治組織(自治会・地区・部落など地区によって呼称は異なります。)があり、集落内の暮らしの向上や生活環境の整備などを共同で行っています。また、自治組織のリーダーには地域と行政との連携に関する事や、広報紙などの配布、除雪に関する事など地域課題のとりまとめをお願いしています。



ちょっと飯豊町体験



東京都杉並区高円寺純情商店街 山形県飯豊町アンテナショップIIDE

飯豊町のおいしいお米や名産品を発信するべく、2014年11月にオープン。飯豊産米のおにぎりやお弁当、産地直送の野菜などを取りそろえており、首都圏での交流促進の窓口にもなっています。お気軽にお越し下さい。

住 所 / 東京都杉並区高円寺北2-7-6
アクセス / 中央線高円寺北口から約130m
T E L / 03-5356-9922
営業時間 / 10:00~20:00



町内イベント



白川ダム湖畔マラソン(5月)

飯豊連峰の麓、豊かな大自然の中を走ってみませんか？
絶景のコースが皆さんをお迎えます。



獅子祭り(7・8月)

町内では、7月から9月にかけて17の神社において荒獅子祭りが行われます。

めざみの里祭り(9月)

9月第1土曜日に開催される町の一大イベント。祭りのクライマックスには町民による「めざみの里WA踊り」が盛大に！



雪祭り(2月)

各地区で雪を使ったイベントが開催されます。



お試し 住宅



町での暮らしをイメージしていただけるよう、お試し住宅をご用意しております。

利用料 無料
※寝具レンタル料のみ1組3,000円程度頂戴します。
宿泊可能期間 1泊2日～6泊7日
※2泊3日以上の場合、うち1泊は町内の宿泊施設をご利用いただけます。
所在地 山形県西置賜郡飯豊町大字椿2800番地50

飯豊町 体験ツアー



飯豊町を知っていただくためには、実際に町に訪れていただくことが一番！
町での暮らしや住環境・仕事情報、食の魅力やアクティビティをご紹介しますツアーを実施します。通常の旅行より格安に設定することで、来町の機会を増やします。このツアーをきっかけに移住した方も。

interview1



加藤 雅史さん

- 職業／林業
- 年代／30代
- 移住年／2019年
- 移住前の住所／神奈川県

絵美さん

- 職業／登山ガイド
- 年代／40代

飯豊町中津川の
木こり通信



飯豊町木の作り手
プロジェクト
Instagram



きっかけは「新農業人フェア」

夫婦で移住を決意し、移住先を検討するため※「新農業人フェア」に参加しました。別の地域を検討していましたが、町の移住担当者に声を掛けられ飯豊町に興味を持ち、後日中津川を訪問しました。農家民宿に宿泊、地元農業法人での農業体験も経て、中津川に惚れ込み、2019年に移住しました。

妻の仕事の関係もあり、まずは自分が先に移住しました。仕事や生活環境が変わり、身辺整理や家事も一人でこなさなくてはならなかったために大忙しの日々。すぐに初めての冬がやってきて、毎朝毎晩除雪。かなり過酷な生活だったと思います。1年後に妻が移住してきた時は家事をやってくれたり、役割分担できて、自分のやりたいことも進められてとても助かりました。

※新農業人フェア…「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象とした、国内最大級の就農イベント。

新たなことを作り出す余白がある、それが町の魅力

(雅史さん) 仕事も報道カメラマンから農林業へ転職。チェーンソーオペレーターとして地元の農林業の会社に勤務しています。林業をメインに間伐や伐採を行っています。4月中旬くらいから会社の農業部とともに田植えの準備が始まります。最近は会社の仕事だけでなく、薪を作って販売もしています。その他、地元の先輩方とともに有害鳥獣の駆除を行うことも。中津川に移住してたくさん資格を取りました。これまではカメラマンとして仕事をしていたので職場環境はずいぶん変わり、生活は一変。少しずつ中津川での生活にも慣れてきて、購入した空き家についてきた裏山の整備を始めました。町でできた仲間とともに※中津川の森人会を発足。整備した森への訪問者は100人を超え、森が「人との繋がり場所」になりました。豪雨災害ボランティアでできた仲間がチェーンソーの実

地訓練として一緒に森林整備をしたり、地域の方・行政の方、いろいろな業種の方と森を通じて関わられる。自分の目指す森人会の形になってきたと思います。水没林ライトアップ、※アーティストインレジデンスなど、森会のメンバーとともに実施したさまざまな活動を評価していただき、2024年に輝く県民活躍大賞を受賞。



集落の人口が減少に減少する中、自分達の村は自分達で守っていこうと自主防災組織も立ち上げました。

飯豊町はさまざまなことを自分で作り出せる余白のある町だと改めて感じます。そうしているんな人が関わることで奇抜なアイデアが出てきます。

若い人達のやりたいことを一緒に実現できる環境を作ることが私の役目だと思っています。

(絵美さん) 私は元々登山が好きで、山の近くに住みたいと思っていました。移住前は美術館職員。移住後は地域おこし協力隊を経て、現在は登山ガイドの仕事をしています。裏山で、アーティストインレジデンスをスタート。飯豊町には隠れた魅力がいっぱいです。

※中津川の森人会…中津川集落で小規模林業を行う団体。森の空間を使ったイベント、林業を広く伝える活動、技術の継承を目的とした団体。

※アーティストインレジデンス…アーティストが飯豊町に滞在し、土地の人々やものと関わりを深めながら、広葉樹を用いて制作する。



仲間達と手がけた森のライトアップでのにぎわいの様子

夫婦で移住して6年。

●飯豊町での生活を振り返って見てどうですか。

楽しい反面、大変なことも多かった6年間。地域のことは全部関わらなきゃ!と意気込んだ移住当初。自分がこの地域にどうやって関わっていくかというコアな部分は関わり、それ以外の部分は自分の時間に、とある程度自分で線引きして関わるようになりました。

●移住希望者の方へアドバイスをお願いします。

最初の1年をどう乗り切るか。夫婦でお互いをサポートし合っていけないと中津川の自然環境ではやっていけません。思い通りにいかないことの方が多いですが、諦めずに少しずつでも根気強くやっていくことが大事です。少しでも自分のやりたいことを周りに伝えることでやりたいことは実現していきます。一人では何も出来ません。同じような志を持った仲間がだんだん増えて、どんどん田舎暮らしが楽しくなっていきます。



アーティストの滞在制作を支援する事業「アーティストインレジデンス」(上)と同事業において森の仕事の説明をする加藤ご夫妻(下)

四季を通して見る田舎暮らしの魅力

中津川移住相談窓口
「いいもんだ中津川」
ホームページ



飯豊町中津川地区は、冬になると3m近く雪の積もる豪雪地帯です。そんな田舎だからこそ、都会にないものがたくさん！自然の恩恵を受けながら、ゆったりと暮らす中津川の人々。大変だけど楽しい、田舎ライフを過ごしませんか？

春



山菜 山の恵み

里山の生活では春、山の恵みでいっぱい。わらび、ごごみ、うど、ぜんまい、うるいなど。わらび園で収穫体験が出来るほか、中津川農家民宿、白川荘で地元の食材を使った美味しい山菜料理が味わえます。

緑の水没林

長い冬も終わり、飯豊山の雪解け水が白川ダムを満たし、木々が水没します。雪解け水は青々しく、朝早く水没林を散策すると、霧に包まれた幻想的な景色が見られます。

夏



中津川の夏

夏は短いです、しっかりと暑い。昼間はジリジリと太陽が照り付けます。ただ、夕方～夜は肌寒いくらい。夜空には満点の星が瞬き、流れ星も見られます。夜行性のカブトムシやクワガタにも沢山出逢えます。

菅干し

菅(すげ)刈りは暑い8月に生育状況を確認して行います。刈っては干し、干しては刈ります。笠骨は男性が組み立て、乾燥した菅を用いて冬期に女性が笠を縫っていました。

秋



はせ掛け

9月下旬～10月上旬にかけて、収穫した稲をはせ木に掛けて自然乾燥させます。このはせ掛けの光景は現在は珍しくなりました。乾燥を経て脱穀、乾燥、粳摺りして保存・流通されます。中津川のお米はとっても美味しいと評判です。

宇津沢かぼちゃ

宇津沢集落で栽培されているおきたま伝統野菜。9月下旬ごろから収穫、追熟させる。少量生産のために、時季になると白川荘で販売はいつか～？と聞かれることが増えます。ほくほく、見た目にも美味しいかぼちゃです。

冬



冬支度

中津川の冬は長い。何やかんやと忙しくしているうち、あっという間に初雪が降ります。庭木や家の窓に雪囲いをして、除雪機など機械のメンテナンスをしてしっかりと冬に備えます。食料も塩蔵した山の恵みを冬の間、使う分ずつ塩抜きし、大切に使います。

豪雪

2月は冬の中津川で最も寒い季節です。山も田畑も道も家も、真っ白な雪に覆われます。県道・町道沿いの雪壁は多い所で2m～3mにもなり、隣の家が見えなくなるほどです。水墨画のような美しい銀世界。動物たちが足あとを残していきます。

interview2

ijun02

三澤 優治さん
恵美さん
お子さん2人

- 職業／農業
- 年代／40代
- 移住年／2017年
- 移住前の住所／東京都



マラソン大会に向けて
ランニングするお子さん

きっかけは新農業人フェア

(恵美さん) 将来は田舎に住みたい、農業がしたいと言っていた夫が東京で開催された新農業人フェアに参加したのがきっかけです。夫は移住する前から田舎で暮らしたいと話しており、私の実家でも農業をしていたので、農業をしたいと聞いたときはすんなり受け入れることが出来ました。

子どもたちの小学校入学のタイミング、農業で独立する時のタイミングを考えた時に今しかないと思い移住を決断。最初こそ、知らないところに行くのは不安だなと思ったりもしましたが、それよりも楽しみな気持ちも大きかったです。夫が農業体験に参加してから、家族でも飯豊町を訪れ役場の方に保育園、小学校、住宅など案内してもらい、半年もしないうちに引っ越ししました。自分たちもびっくりするくらいの早さでしたが、スムーズに引っ越しが出来たのも色んな方が協力してくれたおかげだと思います。移住前は転勤が多い仕事をしていたので、環境の変化に不安はありませんでしたが、雪国暮らしの経験がなかったので慣れるまでは大変でした。



ハウス周りを除雪する優治さん



トラクターを運転し、畑を耕転する恵美さん

繁忙期は早朝から夜遅くまで作業

(優治さん) 一年半の研修後に独立し、ハウスで園芸作物の栽培を開始。現在は夫婦でトマトを中心にブロッコリー、春菊、わさび菜など、栽培時期をずらしながら1年中ハウス栽培し、出荷しています。ミニトマトは、4月に定植し、6月頃から収穫が始まります。9月中旬までは毎朝4時半から収穫が始まり、16時まで出荷作業、出荷後は管理作業やキュウリの収穫など22時までの作業が毎日続きます。2024年から直売をスタート。近所の方が気軽に買いに来てくれる場所になればいいなと思っています。農業という仕事のため、なかなか家族で出かけることは出来ませんが、子ども達は夏休みに祖父母の家へ遊びに行ったり、自分の好きなことを楽しんでいます。特に自分達で作ったきゅうりを喜んで食べてくれるので嬉しいです。忙しい毎日のなかでも子ども達との会話を大切に、夫婦で力を合わせて働いています。昨今、離農する方が増え、耕作されていない農地も増えています。こうした農地を活用するため、規模拡大を検討も、現在は2人で作業をしているためできる量に限りがあります。今後は、将来を見据えて農業をつなぐことのできる仲間を増やし、規模を拡大していく挑戦をしていきたいです。

いいであぐりウーマンズとの出会い

(恵美さん) 夫婦で毎日働いていく中で、新たな交流の場所を見つけました。町内の女性農業者で組織する「いいであぐりウーマンズ」です。現在、花きや園芸作物栽培、畜産経営を行う13名が所属しています。地元出身者、移住者が所属しており、町の知らないことや農家共通の悩み、子育てのことを話したり、ランチ会や研修会、寄せ植えのワークショップを企画したり、楽しく参加させてもらっています。農作業中のリフレッシュにもなりますし、有意義な時間です。

飯豊町の魅力

(恵美さん) 自然豊かできれいなお空が美味しいです。人当たりが良く、適度な距離感で気にかけてくださる地域の方も大変心強いです。最近感動したのは、白川ダムの水没林。友達にもおすすめしたいスポットになりました。夏は暑く、冬は寒い、当たり前ですがそれをしっかり味わうことが出来るのが飯豊町だと思います。まだまだ行ったことのない、魅力的な場所があると思っています。人口は減ってきていますが、挑戦することが出来る環境や魅力があります。

移住を考えている方にアドバイスを!

(優治さん) 人口が少ない地方だからこそできるチャンスも数多くあると思います。少しでも興味があれば一度住んでみて判断することも選択肢の一つだと思います。失敗を恐れず、飛び込んでみるのも良いかもしれません。

飯豊町で農業始めてみませんか

最上川の源流「白川」の清流によって作り出される肥沃な土壌と周囲が飯豊連峰の山々に囲まれた盆地のため昼夜の寒暖差もあることから稲作に適した環境です。「つや姫」、「はえぬぎ」などの作付が盛んですが、2018年に本格デビューのブランド米「雪若丸」が販売を開始し、生産量を増やしています。また、「米沢牛」の主産地であり、市場へおよそ4割を出荷しています。県内有数の栽培面積を誇るアスパラガスの栽培も盛んな地域です。新規就農をめざして移住する方も多い飯豊町。各種支援なども充実。支援情報は就農ポータルサイトをご覧ください。



飯豊町
就農ポータルサイト

飯豊町地域で育てる 担い手協議会

新規に就農や研修を希望する方の受け入れをサポートするための組織で、役場農林振興課が事務局をしています。

農業体験の事例や
いいであぐりウーマンズの
活動の様子はこちら▼



興味を持ったらずまず体験!

飯豊町の景色、食、生活環境、そして人の温かさを誰もが気軽に体感し、知っていただけるよう「オーダーメイド型」の農業体験の機会を通年でご用意。

ご希望に応じて住まいの見学や町内案内も可。日程や体験内容はヒアリングを実施しながらアレンジします。

- ◆期間は日帰りから1週間まで
希望に応じて調整
- ◆体験中の宿泊費は協議会が全額負担
- ◆片道分交通費助成（上限1万円）
- ◆体験に使用する長靴や手袋などの貸し出し



いいであぐりウーマンズ

女性農業者や農業委員などを中心とした有志グループ。

農業に関する情報交換や女性農業者ならではの悩み相談などランチ会や研修会といった楽しい企画を通して交流しています。

メンバーは地元民から移住者まで。すぐに農業仲間ができること間違い無し!



仕事

農業・工業・観光が基幹産業。
兼業農家も多いです。

農業

米・米沢牛・アスパラガス・トマト・キュウリ・イチゴ・サクランボ・山菜・里芋などが特産。兼業農家として企業に勤めながら休日などを利用して稲作や畑作に勤しむ方も多い。



観光業

飯豊山の雪解け水によって作り出される奇跡の絶景「白川湖の水没林」や春の山菜シーズンは多くの観光客が訪れる。また、なかつがわ農家民宿には、こころのこもったおもてなしと山の幸を使った郷土料理を目当てにリピーター続出。冬は雪国ならではのスノーパークが開催。

工業

電機部品製造を中心とした企業14社が稼働している「東山工業団地」、大手自動車メーカーの自動車部品工場など、町の自然や景観を守りながら工業の発展にも注力。

近隣の町で 働こう!

飯豊町から小国町や川西町・長井市まで車で約20分。置賜地区は車で30分程度の通勤圏内にあります。実際に近隣市町へ通勤している方も多いです。職場のフィールドを広げて希望の仕事を探してみませんか。



interview 3

ijuu03



内本 信之さん

- 職業／塗装業
- 年代／60代
- 移住年／2023年
- 移住前の住所／埼玉県戸田市

自然災害が少なく、 安心して暮らせる場所を探して

父は飯豊町のお隣、長井市出身でしたので、飯豊町へは子どもの頃から遊びに来ていました。今から4年ほど前になりますが、住宅ローン完済を前に移住を考えるようになりました。自宅での仕事では塗装ブース内での作業が多く、夏の間は「この暑さをあと何年耐えられるかな？」と考えていました。また、住んでいた地区は埼玉と東京の境を流れる荒川が氾濫した場合、7mの浸水が想定されていました。数年前の台風では自宅の瓦が落ちる被害なども経験したので「夏はそれほど暑くなく自然災害リスクも低くて安心して暮らせる場所」が移住先の理想になっていました。安心して暮らすことのできる場所を調べるため、まず水害や火山噴火のハザードマップ、政府地震調査研究推進本部の地震予測地図などを参考に移住先の候補地を絞り込みました。

そして各候補地の市町村ホームページなどに掲載されている空家バンク情報などを定期的にチェックして、「住まい」としての条件が近い物件を探して行きました。その後、興味があった現在の家について町へ問い合わせ、内覧を経て、物件が気に入ったので移住を決めました。

移住後の仕事

20年ほど前に勤めを辞めて自営業をやっています。インターネット上のホームページで依頼を受け、宅配で送ってもらい注文通りに仕上げて発送するという仕事です。国内どこにいても出来るため移住の障害にはならずに助かりました。

仕事の内容は主に趣味の自転車(ロードレーサー、ランドナーやマウンテンバイクなど)のフレームの剥離塗装、フレームを傷つけてしまった際の補修塗装や各パーツの塗装を行っています。

今後の展望

移住前は家のリフォームを行いながら畑などの整理が出来ればと思っていましたが、実際に住んでみると畑が広めなこともあり維持するだけでも時間が掛かることが分かりました。今後の事を考えて、畑や家の周りの作業や維持にかかる時間や労力なるべく減るように作業をしています。これらが落ち着いたら自宅リフォームに本腰を入れて行く予定です。

樹木の伐採は当初チェーンソーで切り倒してから根を掘り出しましたが、腰への負担があったので試しに根を砕きながら掘り進めてからレバー式ホイストで引き倒してみました。その後、太い幹などはチェーンソーで3-4cmの厚さにスライスして敷石のように使い、他の部分はガーデンシュレッダーでウッドチップにして畑の雑草対策に役立てています。

畑の整理だけでは飽きてしまうので気分転換に色々育てています。いまの楽しみは四季なりのいちごです。夏の間は大味になりますが、数は取れるので冷凍してまとまった数になったらジャムにしています。



家のリフォームや畑の整備を少しずつ進めています

飯豊町の魅力

暑い日に屋外で作業をした後に室内で扇風機の風を浴びるだけで汗が止まる場所です。特に西の方から吹いてくる風は爽やかで気持ち良く好きです。

私にとっての魅力は、あまり意識していなくても今まで見る事のなかった生き物や生態に出会えることです。

キジ、アカゲラ、トンボの羽化などなど自宅にいる時や散歩中に見つけて撮影した画像から一部をご紹介します。



住まいのおすすめ3選

飯豊町での住まいのおすすめ3選をご紹介します。
この他、まずは賃貸住宅に住みながら、空き家を探し二段階移住をされる方も多いです。
自分に合った住まい方を見つけてください！

空き家バンク

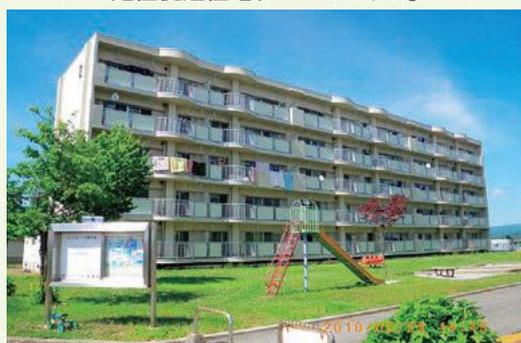
飯豊町では空き家の利活用として物件を幅広く募集し、物件情報を提供する「空き家バンク制度」を実施しています。空き家を自分好みに作り替えながら暮らすことが可能なのが良いところ。物件情報は随時更新していますので、最新情報はこちらをご覧ください。



賃貸住宅

管理者で除雪を行ってくれるので、初めての雪国暮らしでも安心！雪かきは最小限でOK！

定住促進住宅「いいでハイツ」



- 家賃:30,400円~38,000円
- 所在地:萩生地区
- 戸数:2棟60戸
- 間取り:3DK
(6畳和室2室・4.5畳和室1室・DK6畳)



瑞穂寮



- 家賃:13,200円
- 所在地:中津川地区
- ※入居開始時期は要相談



民間アパートやシェアハウス

飯豊町には、民間アパートが6カ所、シェアハウスが1カ所あります。

2つの分譲地

町では定住を目的に2つの住宅団地を造成しました。詳細は各サイトをご覧ください。



置賜地域の各市町へ車で30分圏内。いいで添川温泉しらさぎ荘が目の前！土地の購入者にしらさぎ荘入浴券をプレゼント。

添川住宅団地



自然と調和した街並みを作ると共に、エネルギーコストの流出を抑えた持続可能な循環型社会を構築するための要素を凝縮し、暮らす人の個性が発揮され、時とともに美しく輝きを増すこれからの飯豊の暮らしを形づくる住宅エリア。

エコタウン 椿



interview4

ijun04



後藤 武蔵さん(写真左)

小野 優太郎さん(写真右)

■移住前の住所／愛知県豊田市

■移住前の住所／東京都稲城市

- 職業／エネルギー脱炭素サービス業
- 年代／30代
- 移住年／2020年



会社設立を目標に

(後藤) 飯豊町出身で大学進学をきっかけに町を離れましたが、育ててもらった町についてか恩返しをしたいと思いながら生活をしていました。社会人を経て、少しずつ自分にも自信がついてきたこと、コロナ禍で祖父母に会えないことが続いたため、友人とともに会社設立を目標に2021年にUターンを決意しました。

(小野) 関東で仕事をするも、東日本大震災を経験した時の地域復興や地方創生に貢献したいという思いが消えず、地域にもっと密着した働き方をしたいと思っていました。まさにその時、大学の先輩である後藤氏から「今の仕事を辞めて、飯豊町に戻り、再生可能エネルギーで事業を起こそうと考えているけど、一緒に来ないか？」と誘いを受け、面白い経験ができそう、成長にもつながるはずと思い移住を決意しました。

移住後の生活と今後

(後藤) 移住後に結婚、息子の誕生など生活は一変しました。移住してすぐは、やりたいことがたくさんあり、いろんなことに手を出しすぎたかなと思ったりもしますが、自分の思いを伝えることで少しずつやりたいことが形になり、仲間が増えました。飯豊町の資源を生かし、ヒト・モノ・カネを地産地消できるようにして、外に流れている無駄を減らす。さらにその先の未来として、人が帰ってきたくなる企業や仕事を、飯豊町に増やしたいです。



お子さんと初めてのスキー場へ

(小野) 飯豊町に移住して最初の年は雪が多く、雪かきが大変でしたが、町の事業である「未来カフェ」でできた仲間や森林整備で出来た仲間、協力隊りに研修で知り合った仲間など、とにかく仲間が増えました。

今後は海外を旅しながら、自分らしいライフスタイルを築いていくことが今の目標です。

協力隊時の活動

SDGs普及推進員・ゼロカーボン推進員として協力隊に着任し常に一緒に活動。起業型地域おこし協力隊として起業を見据えて3年間活動しました。小学校や地域の居場所でSDGsカードゲームの開催をしたり、地域の仲間とともにごみの削減を目的としたリユースショップ「※くるくるショップ」を開設したり・地域の方々との関わりを多く持つことが出来ました。

そのほかにも飯豊町ゼロカーボンロードマップの作成、温室効果ガス排出量・吸収量の見える化、森林整備などをの活動を行いました。小学校での講演や町民向けの講話などを通して、多くの住民の方との交流ができたことが任期中の大きな成果です。

※くるくるショップ・・・家庭にある不要品を持ち込んだり持って帰ったりできるお店。徳島県上勝町の事業を参考に、飯豊町椿地区にオープン。



2021年椿地区にオープンした「くるくるSHOP」(上)
町内のイベントに出張、中学生ボランティアも大活躍(下)



未来カフェメンバーとドラム缶風呂を楽しむ

協力隊退任後の起業

協力隊退任後は、任期中にできた4名の仲間とともにエネルギーや脱炭素関連の会社「株式会社LandCo.」を設立しました。これから私達が実施していく事業を通してエネルギーを身近に感じてもらい、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーを有効活用するための取り組みを知ってもらい、今後はコワーキングスペースのオープンを予定しており、飯豊町からさまざまな情報を発信していきたいと思っています。

飯豊町の魅力と移住を考えている方へ

(後藤さん) 一番は人の良さ！都会では感じることでできないとてもおらかでのんびりした時間が流れていきます。雪国暮らしは大変なこともあります、春の喜びを感じることができます。ぜひ飯豊町に来て体験して欲しいです！

(小野さん) 人と自然が魅力です。昔から町の計画は住民参加型で立案していることから、自分たちの町は自分たちで良くしていこうと考えている人が多いと思います。住民全員で創り上げてきたこの町は、この町に住む人達の温かさが反映されたかのように、穏やかな空間に感じます。飯豊町にたくさん眠る自然資源の景観を損なわずに、有効活用していくことでもっと飯豊町の魅力を上げられるように皆さんと活動していきたいと思っています。「自分たちの町は自分たちで良くしていく」それが飯豊町です。

多様な地域との関わり

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、2009年度から総務省が実施する制度です。1～3年間、都市部から過疎化が進む地域に移住した「協力隊員」が自治体の委嘱を受け地域の問題解決や活性化のための活動（町おこし・村おこし）に携わります。

令和5年度の隊員数は全国で7,200人。令和8年までには10,000人を目標として各地域が取組を進めています。直近5年に任期終了した隊員の約7割が任期終了後も定住しており、地域での起業につながるケースも数多くあります。活動内容は地域によって異なりますが、農林水産業など一次産業への従事をはじめ、特産物を活かした商品開発、デジタル化などの住民の生活支援、交流の場づくりなど多岐にわたります。



地域おこし協力隊の詳細や募集情報などはこちら！
JOIN移住交流推進機構サイト



飯豊町
地域おこし協力隊
Instagram

山形県内では約180人の協力隊が活動中。飯豊町ではこれまでに5名の地域おこし協力隊が、移住・アウトドア・農業・ゼロカーボン・SDGsなどの分野で活躍。退任後も飯豊町に定住、引き続きそれぞれ町の情報を発信しています！

いいで未来カフェ

飯豊町に住んでいる方や町に関わりを持つ若者が集まり、自分たちの「やりたいこと」「できること」と「社会が求めていること」を掛け合わせ、理想とする未来像の実現に向けたアクションのためにスタート。メンバー全体での学びやチームごとにミーティングを重ねながら、メンバーの思いや夢を形にしなが、チームビルディングを深め、まちづくりや地域づくりに関する様々な活動を実施。



消防団

火災や大規模災害時に自宅や職場から駆けつけ、消火活動や救助活動を行います。消防団の活動は消火活動だけでなく、地域住民への啓発活動や消防団音楽隊の活動など多岐に渡ります。演習や出初式などの年に数回の行事や飲み会もあります。団フェスなどの楽しいイベントも企画しています。



飯豊町のNPO法人

NPO法人ほっと

子どもの預かり、イベント託児。地域交流活動を行っています。



NPO法人まちづくりいいで

高齢者の居場所「みんなの家」の運営や除雪ボランティアなど地域支え合い活動を行っています。



NPO法人みらいいいで

地域でのマルシェイベントの企画・運営や米坂線復旧応援ライブなどの活動を通じて、飯豊町の魅力を発信し、住みよい町づくりを目指しています。



interview5

ijun05



船渡川 葉月さん
お子さん2人

- 職業/自営業 (珈琲製造販売)
- 年代/40代
- 移住年/2011年
- 移住前の住所/神奈川県二宮町

雪室熟成珈琲こしやる
公式サイト



山に魅せられて

(葉月さん) 中学生のときに環境問題に関心を持ったのをきっかけに、大学で林学を学び、卒業後は東京で、森と人の暮らしをつなぐNPO「共存の森ネットワーク」に勤めていました。その活動の中で山形に通ううちに、「山村の暮らしを実践しながら守る生き方をしたい」という気持ちが強くなり、6年通い続け、2011年5月に移住しました。

移住を後押しするひとこと

私が所属していたNPOは、2007年に発足し、山村の暮らしに目を向けた取り組みを行っています。全国から集まった100名の高校生が、山で暮らす知恵を持った「森の名手・名人」に一对一で話を聞き、名人の技や生き方を文章にまとめる「森の聞き書き甲子園」や、大学生や高校生が中心となって、全国5か所の山村の暮らしを学ぶ「共存の森づくり」などの活動を行っています。その全国5か所のうちの1か所が中津川でした。中津川に通い始めて2年目、地元の方から「この地域に移住しませんか？」と勧められました。そのときには、自然の中で暮らすのは魅力的だし、人も温かい、でも働くところは無いし、将来を考えると医療や教育の不安がどうしても拭いきれなかったということで「良いところだけけど…」としか答えませんでした。しかし、実際に何十年もこの土地で暮らす人々とのふれあいから、自分の生活のベースを自分自身で作っているこの暮らしこそが「生きるということだ」と強く感じました。山村の暮らしを守る活動をするならば、通って時々訪れるのではなく、実際に住んで山と向き合っていくことが不可欠。中津川は日本一広い※財産区を所有し、山と暮らしの距離が近いのが特色です。その中で「山に生かされている」と語った地元のお年寄りの言葉が、私の背中を押しました。

※住民が管理している約12,000haの広大な山林

移住して10年

移住当初は農家レストランをオープン。レストランで出す雪室で熟成させた珈琲がおいしいと評判になり、販売を決意。現在は雪室熟成珈琲の販売を中心に活動しています。移住して10年。地元の農業法人でアルバイトをしたり、移住仲間と森林整備を一緒にやったり、やっと自分のやりたかったことができている気がします。



中津川の森人会の仲間と共に

飯豊町での子育て

飯豊町中津川地区に限っては過疎高齢の集落。「自分で子どもを見る」が前提です。子ども園まで距離があり、送迎があるためにフルタイムで働けないもどかしさがありましたが、それ以上に中津川暮らしにおける自然や地域の皆さんとの関わりの中から得られるものは多く、私がここに住み続けたいと思う大きな要因です。

自分で育てた畑への愛着、NPO時代からお世話になっている中津川への愛着。私の心を動かすものが中津川にはあります。雪国に暮らす人は忍耐強く、自然はこんなものだよねと受け入れていて、私もそれを見習いたい。一通り実践して納得するまで中津川に住みたいと思っています。

単なる「自然が好き」「田舎暮らしがしたい」という人に



自宅の新ストーブに使用する薪を割る息子さん

中津川暮らしはお勧めしません。体を動かすのが好きでないと中津川での暮らしは厳しいです。目の前に広がる自然がただただ大きくて、自然を暮らしの一部に利用させてもらうことはできても人の都合にあわせてコントロールできないと本当に感じます。自分がちっぽけで、人々の支えの中で生かされていることや、人は自然の一部として生かされているんだなあと思感することが多いです。子どもたちは今はそんなことを考えていないと思いますが、感覚的に子どもたちのどこかに沁みついてきていたら嬉しいと思います。



家の前の雪山で遊ぶ娘さん

移住希望の方へアドバイス

何かを作りあげていきたい人は思いきって飛び込んでみると、新たな生き方や違った見方での発見もあるかと思います。都会と違って、支援も受けやすく、自分のペースでやりたいことをコツコツとやってみたい人におすすめです。



近所の移住仲間と飯豊山地蔵岳へ初登山(上) 移住者親子でメープルサップを採集(下)

飯豊町ならではの教育

いい子ども大学

山形県立米沢栄養大学、山形県立米沢女子短期大学や地域の協力者と連携し、学びの機会を提供。学生による授業や地域の学習などを実施しています。



いいの子大したもんだプロジェクト

飯豊町の歴史や文化などへの学びを通じて、自分たちの住む町や地域への理解と誇りを醸成し、多様で豊かな学びの環境を通じて、心豊かでたくましい子どもたちを育てていくプロジェクトです。



町営学習塾 「いいで希望塾」

町の将来を担う人材育成を目指し、学校の補足的・発展的な学習機会を提供する町営の学習塾です。中学生対象で、年間30時間、英語と数学の講義がテキスト代の負担のみで受講できます。



町には高校がありません。

町に高校はありませんが、近隣市町には教育環境が充実した公立・私立高校があります。通学には、電車（米坂線・フラワー長井線）、親御さんの通勤の車へ同乗したり、近場であれば自転車で通学したりする他、私立高校では送迎バスを運行している学校もあります。



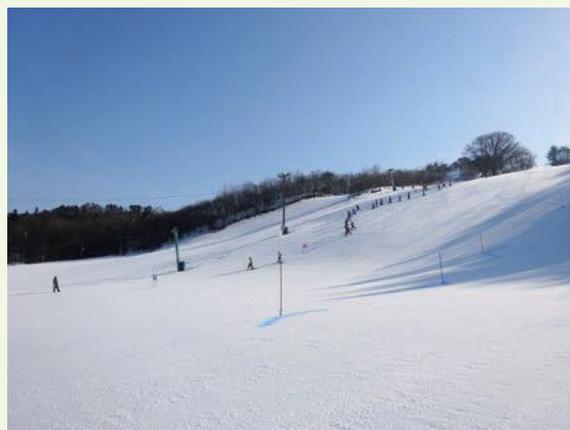
稲作体験

町内各小学校において田んぼの授業が行われます。地域の農家さんを先生に田植えから稲刈りまで稲作について学びます。



スキー授業

小学校から中学校2年生までの期間、冬季はスキー授業が行われます。親子スキー教室やスキー大会などの行事もあります。



いいでまち
飯豊町
アクセス
マップ



交通の
ご案内

東京から

- 新幹線 + 電車 3時間
- 車 5時間

仙台から

- 電車 2時間50分
- 車 2時間30分

新潟から

- 電車 2時間
- 車 2時間20分



詳しい飯豊町の情報はこちら



町HP



町LINE



町facebook



移住ポータルサイト



町公式youtube
チャンネル